

憲章 全国で討議を開始



尾瀬・至仏山東面の蛇紋岩帯を登る労山自然保護調査隊

労山の全国・地方連盟を担う次代の指導者育成のため、中央登山学校の「指導者セミナー」を新設し、05年度夏期より実施する。

期日は、7月9日(土)から10日(日)までの1泊2日で、会場は東京・新宿の早稲田奉仕園のセミナーハウス。参加費は5000円で、募集人数は25名だ。内容は特別講演と各理論講座で①「近代登山史と労山史」②「労山運動の到達点」③「労山遭難対策基金」

第1回指導者セミナー

労山中央登山学校が7月開催

今回、提案された自然保護憲章案とその解説書案では、山岳自然と登山者の現在のかかわり方を見直して、改めて山岳自然と登山者の今後の関係について具体的な提起が行われている。

特に、地球規模の環境の変化に登山者がどうかかわるかという問題と、山のトイレなど解決策がまだ探りきれないオーバーユースの問題で「心のあるさとの山」という新しい提起が行なわれている。これらは、全

国討議の中で議論をつく

して新しい合意形成を求

めることになる。

女性委員会の「自己点検アンケート」は、12

01通の回答がありまし

た。女性委員の約一割、

集計結果は、「集計結

果報告書」と「集計の生データ(エクセル)」で4月始めに各都道府県の地方連盟と女性担当者(窓口)に送りました。

会員から一千通の回答 女性委員会のアンケート

の歴史と実務」
中央登山学校「指導者セミナー」の申し込み及び問合先は全国連盟事務局まで。

05年6月18日に開催

第一回MFA
講師養成研修

労山内で貢献できるアロフエッシュナルなインストラクター養成講座のMFA第1回講座を開催する。受講者は7名。6

新潟中越地震
義援金の報告
05年2月15日終了

労山の地方連盟・各団体・個人から送られた義援金は84万円。全て新潟県連盟に贈呈済みです。

労山フエスタ特集

2・3面

新しい合意形成を求め

労山自然保護憲章第1次案を発表

労山憲章制定委

全国10地方ブロックから選出された制定委員等が構成する労山の全国機関は、今日の日本の自然保護問題について2

年の歳月をかけ、議論を重ねてきた。

この程、外部の有識者

保護集会をめざし、全国

各地で討議が始まつた。

全国登山者自然保護集会を11月17日に開催する憲章原案討議が、05年11月17日・18日に愛知県で開催の第13回全国自然保護集会で行われる。

二年

日本勤労者山岳連盟
Japan Workers' Alpine Federation
〒162-0805 東京都新宿区矢来町10番地 第五英見ビル
TEL 03(3260)6331(代)
FAX 03(3235)4324
URL http://www.jwaf.jp

お問い合わせ・情報
フリーダイヤル
0120-44-2742
(平日10~18時)
E-mail:jwaf@jwaf.jp



ヒダカソウ



温暖化でハイマツが進出(アポイ岳)

全国連盟G1登山隊が6月出発 支援トレッキング隊も同行



ガッシャーブルム1峰(左の稜線が目標の西綫)

北海道で大規模説明会準備

この討議をリードするのが、各地の制定委員の方々です。近畿6府県

は、1月と4月の近畿担当者会議で討議。道央地

区連盟は札幌の300名

勝人登攀隊長、小林喜伊藤正勝團長(全国連盟

ハイキング委員長)以下10名がBCまで同行。

また登山支援のバルト

河井河トレンディング隊も

幸石衛さんご冥福をお

祈ります。

パキスタンのガッシャーブルム1峰(8068m)を目指す今夏の全国連隊は6月10日に本隊が出発し、約二ヶ月半の活動に入ります。一行は近畿6府県連隊長、藤川近藤和美隊長以下、藤川

河井河トレンディング隊も幸石衛さんご冥福をお

祈ります。

